

令和7年度宇都宮市役所環境マネジメントシステム (もったいないEMS) 実績報告書 (令和6年度分)

◎ 趣旨

令和7年度もったいないEMSの取組実績について報告するもの

1 もったいないEMSの概要

(1) もったいないEMSとは

宇都宮市役所が、行政活動の中で環境保全に関する取組を自主的に進めるために環境方針や目標を設定し、その達成に向け「もったいない」のころを持って取り組むための仕組み。

(2) 期待される効果

- ・ 本市行政活動から生じる温室効果ガスやエネルギー使用量の削減
- ・ 職員の環境配慮意識の更なる向上
- ・ 事務事業の効率化を目指した業務改善

(3) 適用範囲

全ての市有施設における行政活動

(4) 管理項目

- ・ 温室効果ガス排出量
- ・ エネルギー使用量
- ・ 宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画に掲げる事業
- ・ エコオフィス活動
- ・ レスペーパー化
- ・ グリーン調達率
- ・ 環境法令の順守

2 令和6年度の取組実績

(1) 温室効果ガス排出量の削減

ア 削減目標

温室効果ガス排出量については「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく地方公共団体実行計画である「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画（令和6年2月策定）」において、**平成25（2013）年度を基準として令和12（2030）年度までに75%削減することを目標**としている。

イ 温室効果ガス排出量の実績

(t-CO₂)

基準年度	実 績				目標年度
平成25年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和12年度
111,610 ※括弧内の数値は、 基準年度比の削減率	82,552 (▲26.1%)	73,130 (▲34.5%)	77,510 (▲30.6%)	71,073 (▲36.3%)	28,000 (▲75%)
参考値※1 ※括弧内の数値は、 基準年度比の削減率	72,400 (▲35.1%)	67,500 (▲39.5%)	62,600 (▲43.9%)	57,700 (▲48.3%)	

※1 基準値から目標値の年度に向けて毎年度逡減していくものとした場合の値

2 令和6年度の取組実績

ウ 評価

令和5年度と比較すると、**6,437t-CO₂の減少（約8.3%減）**となっている。

減少の主な要因としては、**宇都宮ライトパワー株式会社の調整後排出係数が令和5年度以前と比べて約83%低下した**ことである。

一方で、猛暑日や冷え込みの厳しい日が多かった影響により、電気使用量および燃料使用量が前年を上回った。

これらの要因により、排出量の減少効果が一部相殺され、結果として減少率は縮小している。

なお、**基準年度比では36.3%の減少**となっており、排出量削減は着実に進展している。

調整後排出係数の推移【参考】

(t-CO₂/kWh)

宇都宮ライトパワー(株)	R 5	R 6
排出係数	0.000341	0.000057

$$\text{調整後排出係数} = \frac{(\text{火力等で作った電気のCO}_2 + \text{再エネ電気のCO}_2 - \text{非化石証書のCO}_2)}{\text{電力会社が供給した総電力量(kwh)}}$$

2 令和6年度の取組実績

(2) エネルギー使用量の削減

ア 削減目標

市の行政活動におけるエネルギー使用量については、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」（省エネ法）に基づき、**エネルギー消費原単位を中長期的（5年間平均）に年1%以上低減することを目標**としている。

※令和6年度報告(R5分)より
 改正省エネ法に切替
 ※()内は旧省エネ法換算値 (原油換算kl)

イ エネルギー使用量の実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市長事務部局	10,002	9,703	11,999	10,408 (11,601)	12,307
教育委員会	9,781	10,286	10,318	9,208 (10,250)	7,715
上下水道局	8,848	9,064	8,501	7,727 (8,733)	7,655
合計 (前年度比)	28,631 (92.0%)	29,053 (101.4%)	30,818 (106.1%)	27,343 (30,584) (99.2%)	27,677 (101.2%)

ウ エネルギー消費原単位（対前年度比）※の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均原単位	【参考】前年度 平均原単位
市長事務部局	91.1%	112.2%	221.0%	88.7%	92.2%	119.3%	119.0%
教育委員会	95.9%	105.8%	99.1%	99.9%	110.3%	103.7%	100.1%
上下水道局	103.0%	97.8%	99.4%	99.1%	99.3%	98.9%	99.8%

※エネルギー使用量を床面積やごみ焼却量など密接な関係のある値で割った値
 ※市の組織改編による施設移管のため数値が変更となったものと推測される。

2 令和6年度の取組実績

エ 省エネ法における事業者クラス分け評価制度

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市長事務部局	S	A	B	B	
教育委員会	A	A	A	A	
上下水道局	A	S	S	A	

注：令和6年度クラス分け評価につきましては環境省から報告を受け次第、入力いたします。

クラス	Sクラス (省エネが優良な事業者)	Aクラス (一般的な事業者)	Bクラス (省エネが停滞している事業者)	Cクラス (注意を要する事業者)
水準	①努力目標達成※ または、 ②ベンチマーク目標達成	Bクラスよりは省エネ水準は高いが、Sクラスに達しない事業者	①努力目標未達成かつ直近2年連続で原単位が対前年度比増加 または ②5年間平均原単位が5%超増加	Bクラスの中で特に判断基準遵守状況が不十分

※努力目標・・・5年間平均エネルギー消費原単位を年1%以上低減すること

※ベンチマーク目標については市は対象外

2 令和6年度の取組実績

オ 評価

エネルギー使用量については、省エネルギー対策を継続的に実施しているものの、令和5年度と比較して、**令和6年度は原油換算で約334kℓの増加**となった。

この主な要因として、**気象条件の影響による空調設備の稼働状況の変化が挙げられる。**

具体的には、**令和6年3月後半は前年と比べて気温が低く推移したことから、暖房の稼働日数が増加し、エネルギー使用量が増加した。**

また、**同年10月前半においては、残暑の影響により冷房の稼働期間が例年より長期化し、冷房設備の使用日数が増加したことが、エネルギー使用量の増加につながったものと考えられる。**

なお、空調設備の適正運転や節電の呼びかけなどの省エネルギー対策については引き続き実施しており、今後も気象条件を踏まえつつ、もったいないEMS等を通してエネルギー使用量の抑制に努めていく。

【月毎の電力使用量の比較【参考】】(千kwh) ※その他、灯油や重油の使用有り

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和5年	/			5,945	6,976	8,085	9,314	10,415	9,403	8,025	7,339	7,755
令和6年	7,981	9,395	8,046	7,403	7,201	8,019	9,618	9,870	9,581	8,336	7,372	7,886

【宇都宮市の平均気温の比較【参考】】(°C)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和5年	3.1	5.0	11.3	14.6	18.1	22.4	27.5	28.5	25.7	17.0	11.8	6.6
令和6年	4.6	5.9	7.6	16.2	19.1	22.6	27.6	28	25.5	19.3	12	4.9

電力の検針期間は月の途中から翌月の中頃までである事が多く、月の後半分の使用量は翌月分の電力として請求される。
 このため、**令和6年3月後半の使用分は令和6年4月分として計上される。**

2 令和6年度の取組実績

(3) 宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画に掲げる施策の取組状況

▶多くの施策が目標値から乖離している状況にある。

施策		指標	計画策定時 (令和4年度)	評価 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
【基本施策1】 市有施設等における脱炭素化の推進					
施策1-1	省エネ設備等の導入による省エネルギーの推進	全館LED化施設数(累計)	70施設	97施設	320施設
施策1-2	再エネ設備の導入による創エネルギーの推進	市有施設等における太陽光発電設備設置容量(累計)	517kW	864kW	12,700kW
施策1-3	再エネ電力の調達等による脱炭素化	電力使用量における「再エネ100%電力」供給割合 ※1	0%	1.15%	100%
施策1-4	燃料使用量の削減	公用車の電動車化率 ※代替が困難な車両を除く	27.3%	46.8%	100%
施策1-5	各種調達における脱炭素化の推進	グリーン調達達成率	77.0%	90.8%	100%
【基本施策2】 ごみ減量化の推進					
施策2-1	ごみの減量化, 資源化の推進	ごみの最終処分量	18,677 t ※2	17,885 t	16,000 t
【基本施策3】 職員の脱炭素型ワークスタイルの徹底					
施策3-1	「もったいないEMS」による一体的な環境管理の推進	エコ通勤実施率 ※「やむを得ない事情」により実施できない職員は除く	60.2%	79.8%	100%

※1 排出係数が0であるゼロエミッション電力を含む

※2 最終処分量については、令和4年度に発生したクリーンパーク茂原の火災の影響を受けているため、令和3年度の数値を現状値に設定 9

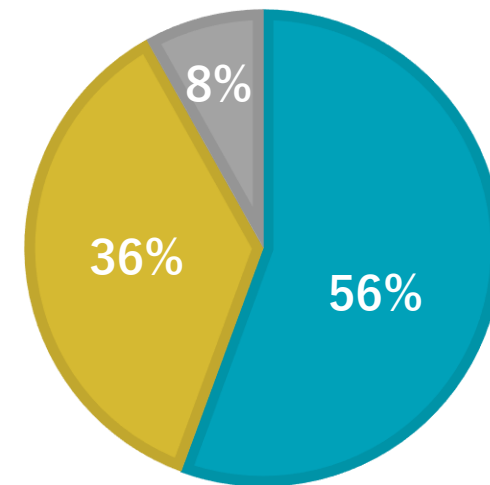
2 令和6年度の取組実績

(4) エコオフィス活動（もったいない+1アクション）

電気・燃料のほか用紙使用量の抑制や職場におけるリサイクルの徹底，環境負荷に配慮した物品調達など，各種環境配慮行動から所属で重点的に取り組むものを一つ選び，実践強化を図るものを「もったいない+1アクション」として設定し，年間を通して実施した。

約92%（R5:約90%）の部署で目標を達成・ほぼ達成となったが，一部の所属においては，印刷用紙の使用増加やグリーン購入調達率の低下などにより未達成となった。

【もったいない+1アクション達成率】



■ 達成 ■ ほぼ達成 ■ 未達成

(5) レスペーパー化

印刷用紙類の削減については，各所属における電子決裁への移行や会議におけるレスペーパー化等の取組により推進されており，もったいないEMSにおいても，各所属において印刷量の削減目標，電子決裁比率の目標を定め，取組を行った。

管理項目	目標	令和5年度	令和6年度	前年比
複合機印刷量	各課設定	1,765万枚	1,668万枚	5.5%削減
電子決裁比率	各課設定	71.4%	71.8%	0.4%上昇

2 令和6年度の取組実績

(6) グリーン調達率

「宇都宮市グリーン調達推進方針」に基づき各所属が積極的な環境配慮物品の調達に取り組んだ。

管理項目	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年比
グリーン調達率	100%	77.0%	98.1%	90.8%	7.3%減少

[調達率減の理由]

令和6年度は、グリーン調達対象からの選定が困難な車両（中型バス）の購入があったため。



(7) 環境法令の遵守

各所属において該当する法令を確認し、年間を通して法令に基づいた取り組みを行った。

管理項目	目標	順調	要改善
環境法令の遵守	順調であること	100%	0%

(8) 研修

研修名	対象者	目的	主な内容
もったいないEMS事務研修	各所属の環境管理担当	もったいないEMSへの理解促進	環境マネジメントの必要性、もったいないEMSの概要、昨年度の取組状況、今年度の変更点
もったいないEMS内部監査員研修	各部局総務担当	内部監査員の監査概要、実施手順等の理解	内部監査の概要及び実施手順等

3 総評

「宇都宮市役所カーボンニュートラル実行計画」に基づき、宇都宮ライトパワーからの電力調達の拡大や、ごみの減量化・資源化等に着実に取り組んでいる。

しかし、令和12年度の目標値から逆算すると、令和6年度の排出量は**57,700t-CO₂程度**である必要があるのに対し、実績は**13,373t-CO₂超過**している。

このため、目標達成に向けては、市有施設のZEB化，LED化，節電などの省エネをすすめるとともに、太陽光発電設備の導入による創エネ，再エネメニューへの契約切替を推進していく必要がある。

